

「2010在日朝鮮人歴史・人権月間」奨励賞

『表彰・まとめの会』 2010年11月12日(金)午後3時～5時(参加費無料)

会場：京都教育文化センター（京都市左京区聖護院川原町 4-13 T.075-771-4221）

◆京阪電車「神宮丸太町駅」5番口より徒歩3分

◆JR「京都駅」②市バスD2のりば206系統で熊野神社前下車、徒歩5分

内容：①受賞団体の活動報告及び表彰

②2010年、全国の活動と2011年の課題提案

主催及び連絡先：在日朝鮮人歴史人権月間全国実行委員会（東京・総評会館内平和フォーラム）、
留学同京都地方本部(090-1145-3986)

「2010在日朝鮮人歴史・人権奨励賞」受賞団体

在日朝鮮人歴史・人権月間全国実行委員会は、2010年「歴史人権奨励賞」受賞団体を以下のように決定しました。また受賞団体の貴重な活動経験を広く知っていただくために11月12日、京都において受賞団体の活動報告及び表彰式を行います。

*「在日朝鮮人歴史人権月間とは」：2006年国連人種主義等に関する特別報告者は日本の現状について「最も甚大な表れ方をしているのは文化的・歴史的性質を有する差別である。」「コリアン・中国人コミュニティについては、こうしたマイノリティに対する差別の歴史的・文化的根深さが日本では認識されていない。」(D・ディエン国連特別報告者「日本公式筋間」2006. 報告書)。この趣旨に基づき日本人と在日朝鮮人が共に在日朝鮮人の過去の歴史を知り、現在の人権状況を考えるために戦後初の人権擁護運動として『在日朝鮮人歴史・人権月間』が始まりました。

【特別賞】(該当無)

【優秀賞】

①同志社大学 KOREA 文化研究会：『韓国併合』100年を問う』とのテーマで植民地検証、在日一世の思い、高校無償化等の講座とフィールドワークを企画。在日の歴史と人権問題から日朝友好に寄与。

②日朝友好愛知学生の会：日朝による学習、シンポ、一世のインタビュー、朝鮮学校訪問、金沢スタディツアー企画を通じ「記憶の継承」の重要性を確認。斬新な活動は「毎日・朝日新聞」等で紹介されました。

【奨励賞】

①留学生同盟兵庫「強制連行真相究明サークル」：強制連行を統計的・学術的に調査研究する基礎資料として数万人の名簿をコンピューター入力し分析を行ったもの。南北朝鮮を含め現時点で最も正確な名簿と評価されました。